

## 学校における防災教育の主な課題（学校関係者からの意見）

- ・教育現場は多忙であり、対象となる教科・内容も限定的。
- ・これまでの防災教育は、断片的な知識の取得が主となっており、得た知識の体系化に課題があった。



**全国の学校で実施されている「避難訓練」の時間を活用することで、防災教育を行う時間を確保しやすくなる**という有識者の意見を踏まえ、国土交通省が学校関係者を支援するため「水災害からの避難訓練ガイドブック」を作成

## 「水災害からの避難訓練ガイドブック」のねらい

### ①水害リスクに基づいた実践的な訓練を行う

地域の水害リスクに基づいた避難訓練のパターンを設定することで、実践的な訓練を行うことができ、具体的な避難行動及び避難行動に結びつけるために必要な準備を行うことができる。

### ②水害に関し、命を守るための具体的な知識と心構えを得る

地震や火災等に比べ、学校では水害に関する具体的な知識や心構えを教える機会が限られていた。避難訓練の事前・事後に指導する事項を整理し教材を活用することで、命を守るための具体的な知識と心構えを得ることができる。

### ③防災教育を体系的に実施する

避難訓練と各教科等の学習を関連付けることにより、教科等で得た水害から命を守るための知識や心構えを体系的に理解するとともに、避難訓練の効果を高めることができる。



パネルを用いた避難訓練の事前指導



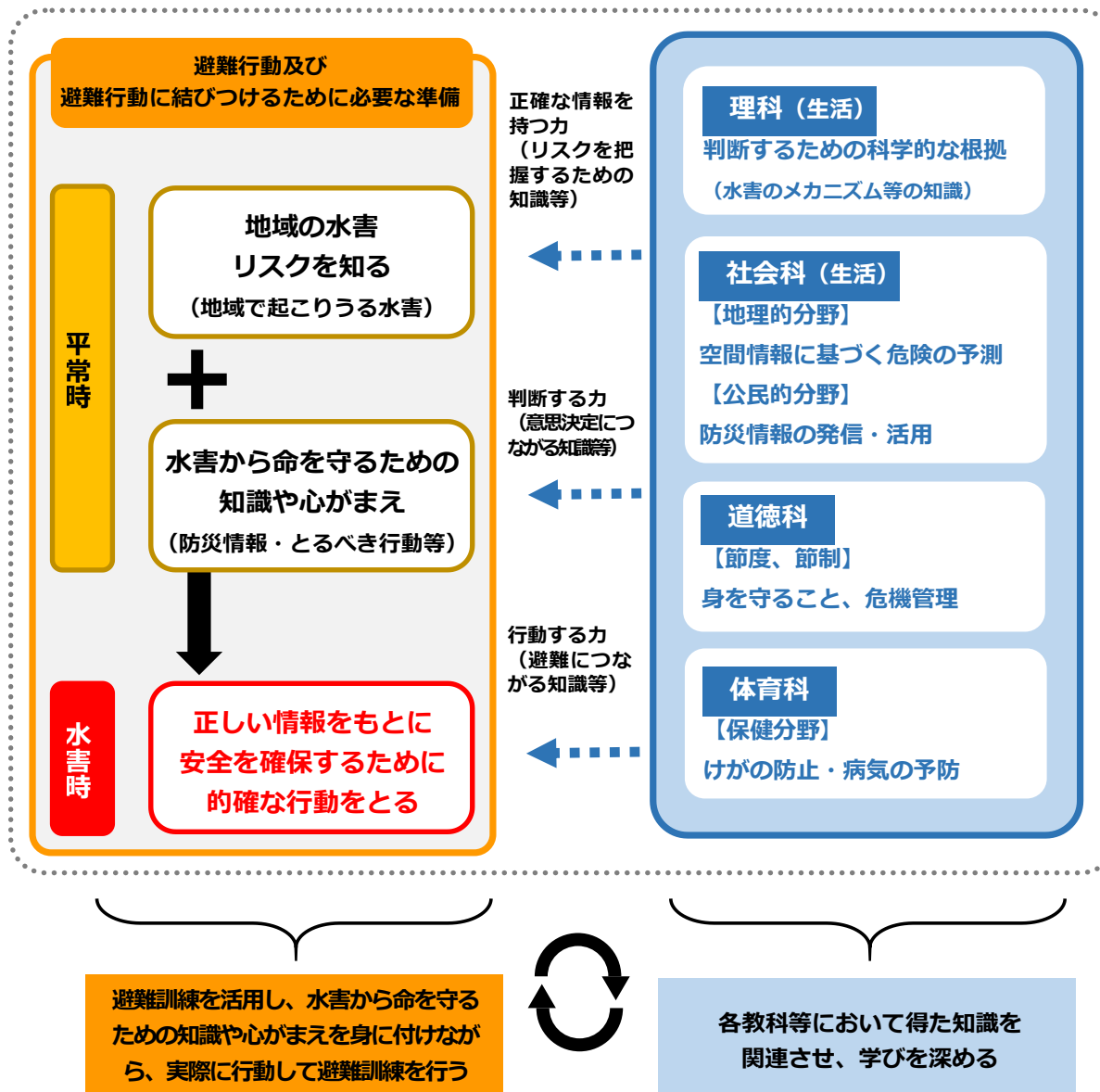
防災集会における児童への指導

# 水災害からの避難訓練ガイドブック ポイント①

ポイント  
**1**



「避難訓練」の時間を活用しながら、体系的な防災教育を展開

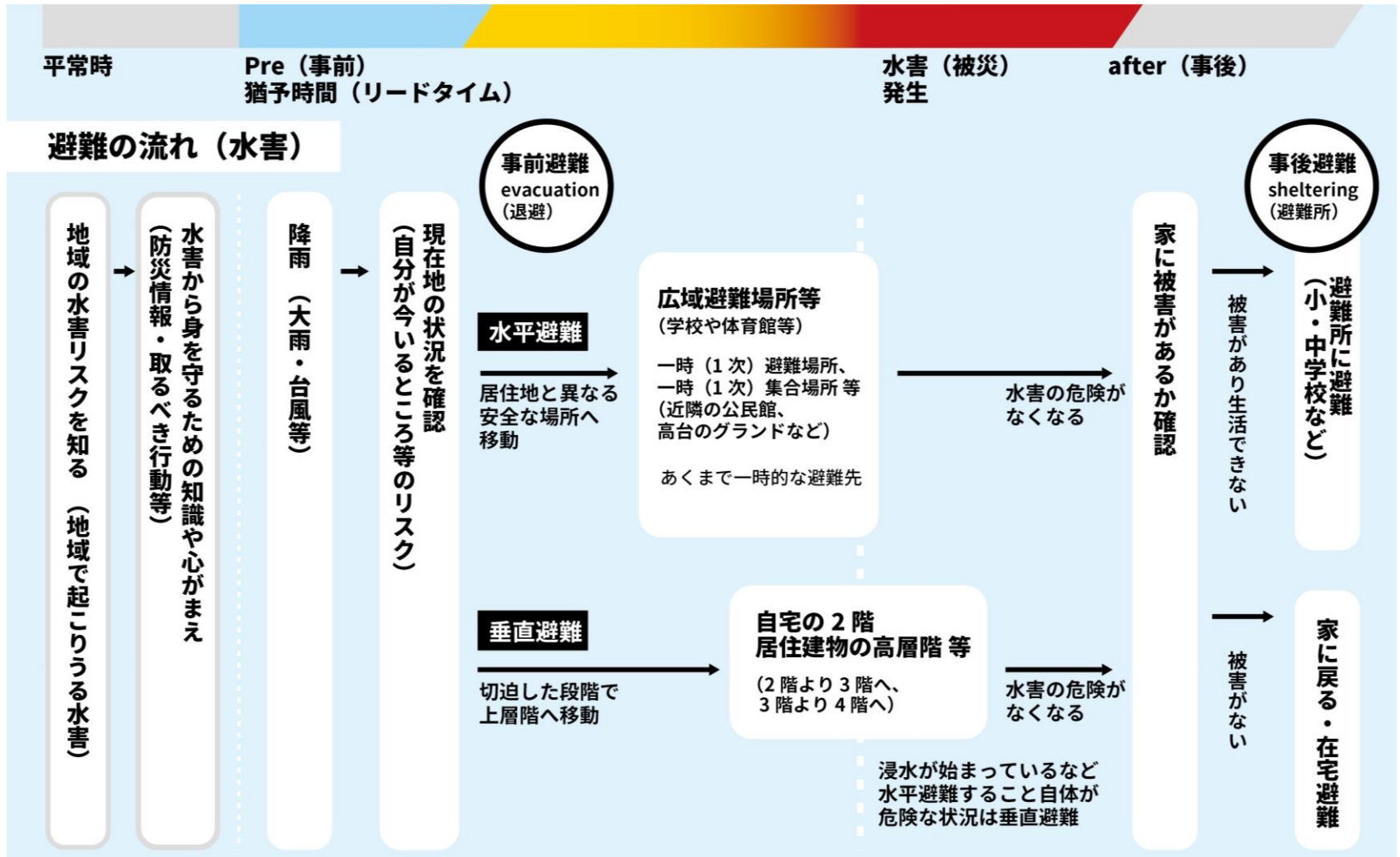


「水害から命を守る」ための避難訓練と、各教科等の学習との関連イメージ

ポイント  
**2**


## 水害に関する避難の手順やタイミングを分かりやすく実践的に整理

- ・ 実際の水害を想定したタイムラインを整理
- ・ 水害は降雨から危険な状況になるまで猶予時間（リードタイム）がある進行性の災害であり、事前に避難することが重要であること理解する



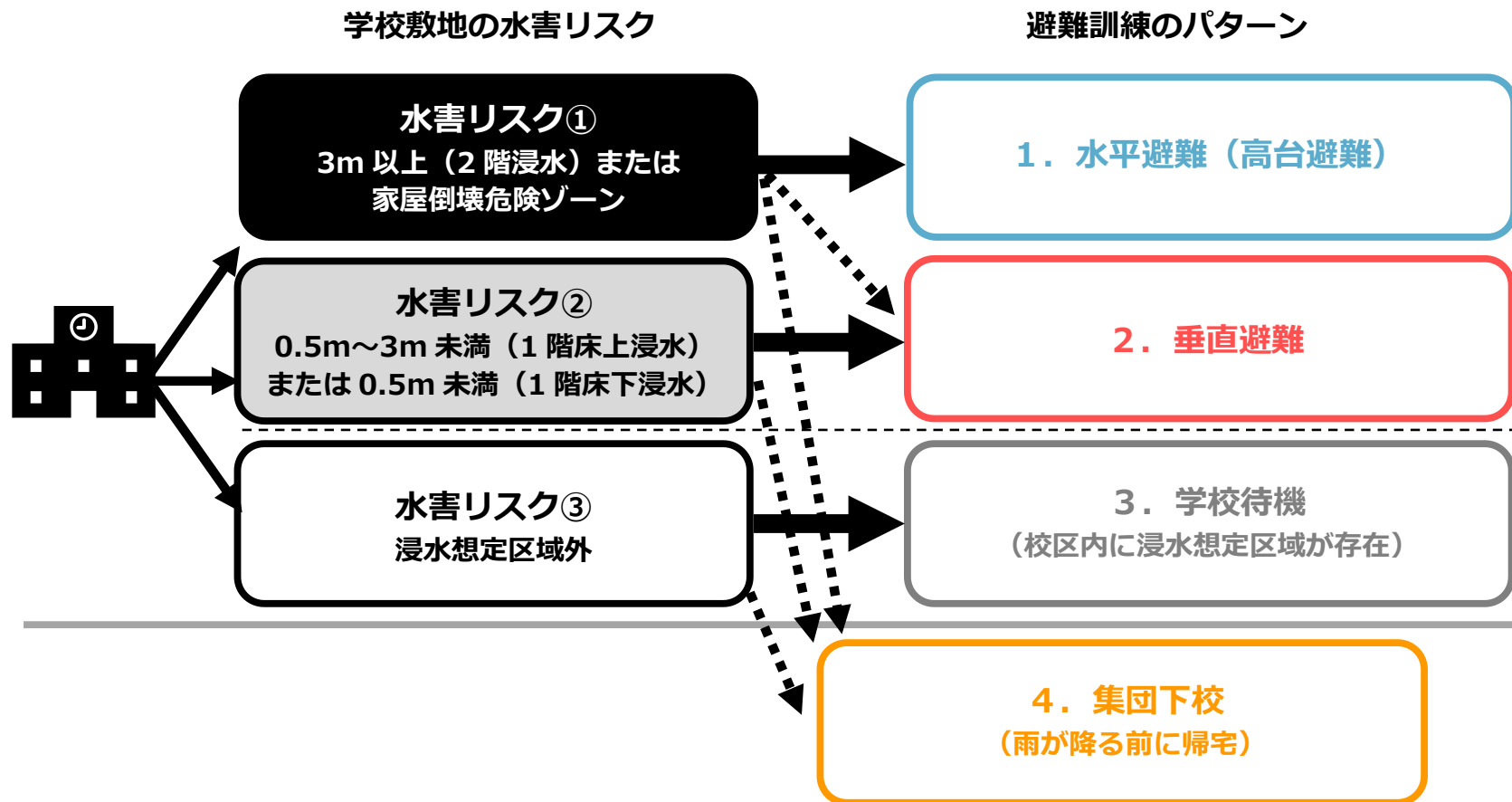
避難の流れ（水害）

ポイント  
**3**



## 水害に関する避難訓練のパターンを設定

学校敷地の水害リスクを踏まえて、避難訓練のパターンを選択できるように整理



学校における避難訓練のパターン

## ポイント 4



### 水害に関する避難訓練時に指導する事項（例）を整理

避難訓練の事前・事後に児童に指導する事項（「水害に関するワンポイント」）の例とそのまます業で使える教材資料を用意

#### 指導する事項の例

…「低学年」「中学年」「高学年」別に教材を作成

##### 【共通事項】

- ・川は、あふれる
- ・あふれると水につかる
- ・あふれる前に逃げる（水がこないところへ）

##### 【水平避難】

- ・どこに逃げるか知っておく
- ・逃げる時の注意

##### 【垂直避難】

- ・上にあげる（あふれたらすぐに上へ）
- ・水につかったら…（氾濫で孤立したら）

## 上にあげる

（あふれたらすぐに上へ）

No.17

低 学年	中 学年	高 学年
---------	---------	---------

ちか  
地下に水が入ると、にげられなくなる。  
ちじょう  
すぐに地上へにげよう。

ちじょう  
地上が水につかると、地下に水が  
なか  
流れこんでくる。  
水につかるまえに上へ。

ちか  
地下にいると地上の様子がわかり  
にくくなるのでちゅうい。

30cmの水でも、水あつでドアがひら開かなくなる。

避難訓練時に指導する事項（「水害に関するワンポイント」）の例

ポイント  
**5**



## 各教科との関連性を学年別に整理

避難訓練と理科・社会等の教科での学習内容の関連性が一目で分かるように整理

(低学年・中学年・第5学年・第6学年)

### 避難訓練の例

### 関連する教科・内容

第5学年 水害の避難訓練に関連した教科内容の展開プラン (例) 実施時期：6月～9月

<p><b>特別活動</b> &lt;健康安全・体育的行事&gt; ・心身の健全な発達や健康の増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにする。</p>	<p><b>道徳</b> &lt;生命の尊さ&gt; ・ &lt;自然愛護&gt; &lt;畏敬の念&gt;</p>	<p><b>総合的な学習の時間</b> &lt;水にかかわる内容&gt;</p>
<p><b>社会科 (第5学年)</b>                  &lt;国土の地形や気候&gt;                  ・我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活することを理解する。                  &lt;自然災害&gt;                  ・自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解する。</p>	<p><b>理科 (第5学年)</b>                  &lt;流れる水の働きと土地の変化&gt;                  ・流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。                  ・雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水によって土地の様子が大きく変化する可能性があること。                  &lt;天気の変化&gt;                  ・天気の変化は、雲の量や動きと関係すること。                  ・天気の変化は映像などの気象情報を用いて予測できること。</p>	<p><b>体育科 (第5学年)</b>                  &lt;水泳運動&gt;                  ・安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く深くこと。                  ・水泳運動の心得を守って安全に気を配りたすること。                  &lt;保健&gt;                  ・けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>

<p><b>避難訓練の例</b> パターンは入れ替え可能</p> <p><b>パターン4. 集団下校</b></p> <p>&lt;ねらい&gt; 台風の接近や大雨が予想されるときに、安全に集団下校するとともに、通学路の危険箇所を知って危険を回避する能力を育成する。</p> <p>&lt;観 望&gt; 大型台風が接近し、午後から大雨と暴風が予測されるので、午前で授業を打ち切り、給食終了後に集団下校する。</p> <p>&lt;時 程&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>12:00</td> <td>臨時職員打合せ (学年主任)</td> <td>・校長より天候状況を知らせ午前で授業打ち切り給食終了後に一斉下校する事を伝達保護者に一斉メールで知らせる。</td> </tr> <tr> <td>12:05</td> <td>児童への伝達</td> <td>・学年主任より各学級担任に知らせ、児童へ伝達する。</td> </tr> <tr> <td>12:10</td> <td>給食準備・給食</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12:50</td> <td>給食終了・片付け・下校準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td>集団下校に関する学級指導</td> <td>・学年毎に下校時や家庭での安全確保について指導する。</td> </tr> <tr> <td>13:10</td> <td>下校開始</td> <td>・放送で指示された学年毎に、昇降口に移動し、校庭で下校方面別に並んで下校する。</td> </tr> <tr> <td>13:10</td> <td>緊急時解散場所への引率</td> <td>・教員は、分担された緊急時解散場所まで引率して児童を解散させ、約10分間待機。</td> </tr> <tr> <td>13:45</td> <td>訓練終了</td> <td>・教員は、緊急時解散場所において児童が戻ってこないことを確認後に、帰校する。</td> </tr> </table> <p>翌日の朝の会 訓練の振り返り</p> <p>・教員は、事前に分担の下校経路、緊急時解散場所及び危険箇所を確認する。                  ・教員は、訓練の際に、携帯電話を携帯し、緊急時の連絡に備える。</p>	12:00	臨時職員打合せ (学年主任)	・校長より天候状況を知らせ午前で授業打ち切り給食終了後に一斉下校する事を伝達保護者に一斉メールで知らせる。	12:05	児童への伝達	・学年主任より各学級担任に知らせ、児童へ伝達する。	12:10	給食準備・給食		12:50	給食終了・片付け・下校準備		13:00	集団下校に関する学級指導	・学年毎に下校時や家庭での安全確保について指導する。	13:10	下校開始	・放送で指示された学年毎に、昇降口に移動し、校庭で下校方面別に並んで下校する。	13:10	緊急時解散場所への引率	・教員は、分担された緊急時解散場所まで引率して児童を解散させ、約10分間待機。	13:45	訓練終了	・教員は、緊急時解散場所において児童が戻ってこないことを確認後に、帰校する。	<p><b>教科関連</b></p>	<p><b>水害に関するワンポイント (避難訓練時に指導する事項の例)</b></p> <p><b>【共通事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○川は、あふれる                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は思ひの多い川だが、大雨等で氾濫することがある (資料 No.1)</li> <li>・水量が多いと、川の様子は変わる。大雨時は近づかない (資料 No.2)</li> <li>・堤防が壊れるとあふれる (資料 No.3)</li> </ul> </li> <li>○あふれると水につかる                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・あふれると土地の低い所は水浸しになる (資料 No.4)</li> <li>・看板等であふれた時の深さを知ろう (資料 No.5)</li> <li>・ハザードマップで深さや逃げる場所を知ろう (資料 No.6)</li> </ul> </li> <li>○あふれる前に逃げる (水がこないところへ)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分は大丈夫」と思わず、安全なところへ逃げる (資料 No.7)</li> <li>・上流に雨が降ると現在地が陥れていても水位が上がる (資料 No.8)</li> <li>・避難についての情報や、川の水位情報を得る (資料 No.9)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【水平避難】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どこに逃げるか知っておく                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所・ルートを確認する (家族でも話し合う) (資料 No.10)</li> <li>・避難場所には種類がある (資料 No.11)</li> <li>・複数の避難ルートを考えておく (資料 No.12)</li> </ul> </li> <li>○逃げるときの注意                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水深がひざ上になると歩行は危険なので近くの高台へ (資料 No.13)</li> <li>・水は低い所へ流れる。水の流れを予想して逃げる (資料 No.14)</li> <li>・足元に注意 (深い場所やマンホール、倒満等がある) (資料 No.15)</li> </ul> </li> </ul>
12:00	臨時職員打合せ (学年主任)	・校長より天候状況を知らせ午前で授業打ち切り給食終了後に一斉下校する事を伝達保護者に一斉メールで知らせる。																								
12:05	児童への伝達	・学年主任より各学級担任に知らせ、児童へ伝達する。																								
12:10	給食準備・給食																									
12:50	給食終了・片付け・下校準備																									
13:00	集団下校に関する学級指導	・学年毎に下校時や家庭での安全確保について指導する。																								
13:10	下校開始	・放送で指示された学年毎に、昇降口に移動し、校庭で下校方面別に並んで下校する。																								
13:10	緊急時解散場所への引率	・教員は、分担された緊急時解散場所まで引率して児童を解散させ、約10分間待機。																								
13:45	訓練終了	・教員は、緊急時解散場所において児童が戻ってこないことを確認後に、帰校する。																								

<p><b>教材の工夫</b></p> <p>&lt;関連する教材例&gt; ・東京防災「防災ノート」(東京都教育委員会)、学習教材「防災まちづくり・くにつくり」(内閣府国土強靱化推進室)</p> <p>&lt;参考サイト&gt; ・国土交通省 ハザードマップポータルサイト <a href="http://disaportal.gsi.go.jp/">http://disaportal.gsi.go.jp/</a>                  ・気象庁 高解像度降水ナウキャスト <a href="https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/">https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/</a>                  ・国土交通省 川の防災情報 <a href="http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyoo.do">http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyoo.do</a>                  ・国土交通省 「身につく防災」コンテンツ <a href="http://www.mlit.go.jp/river/bousai/library/minitsuku.html">http://www.mlit.go.jp/river/bousai/library/minitsuku.html</a></p>
---

### 避難訓練時に指導する事項の例